

2023年1月～2024年3月期
近畿中小企業景況感動向(第175回)

株式会社コスモ不動産情報
西大阪研究所

産業	製造業
	非製造業
	建設業
	小売業
	サービス業

景況感指標		%
上昇	黄色好転	+3～
普通	普通:白色	-2～+2
下降	青色悪化	-3～

本店(西大阪研究所)				1年更新	2023年				2024年
No.	コード	産業	業種分類	企業件数	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
1	HHSB01	サービス業	飲食	36,008					
2	HHSB02	製造業	繊維	7,710					
3	HHSB03	製造業	木材	3,607					
4	HHSB04	製造業	木製品	2,835					
5	HHSB05	製造業	家具・寝具	3,907					
6	HHSB06	製造業	建具	1,931					
7	HHSB07	製造業	パルプ	1,148					
8	HHSB08	製造業	紙	5,970					
9	HHSB09	製造業	紙製品	3,481					
10	HHSB10	サービス業	印刷・写真	8,749					
11	HHSB11	サービス業	製本業	775					
12	HHSB12	製造業	化学工業	9,819					
13	HHSB13	製造業	石油・燃料	2,225					
14	HHSB14	製造業	プラスチック	7,816					
15	HHSB15	製造業	ゴム製品	3,250					
16	HHSB16	製造業	皮革	1,232					
17	HHSB17	製造業	毛皮	1,954					
18	HHSB18	製造業	窯業	2,584					
19	HHSB19	製造業	鉄鋼	9,756					
20	HHSB20	製造業	非鉄金属	3,064					
21	HHSB21	製造業	金属	23,263					
22	HHSB22	製造業	機械	32,311					
23	HHSB23	製造業	電気	20,723					
24	HHSB24	サービス業	輸送	2,288					
25	HHSB25	製造業	精密	3,833					
26	HHSB26	製造業	貴金属	2,326					
27	HHSB27	製造業	日用雑貨	12,787					
28	HHSB28	製造業	衣料	16,908					
29	HHSB29	製造業	アクセサリ	4,316					
30	HHSB30	製造業	日用品	3,444					
31	HHSB31	製造業	自動車・バイク	15,081					
32	HHSB32	建設業	インテリア	7,285					
33	HHSB33	建設業	建築	53,440					
34	HHSB34	建設業	採石・石材	530					
35	HHSB35	建設業	建設	18,423					
36	HHSB36	サービス業	ガス	1,613					
37	HHSB37	サービス業	水道	4,038					
38	HHUN	サービス業	運送	21,569					
39	HHSB38	サービス業	陸運	10,283					
40	HHSB39	サービス業	航空	1,694					
41	HHSB40	サービス業	水運	2,121					
42	HHSB41	サービス業	運輸・運送	30,333					
43	HHSB42	サービス業	銀行	2,813					
44	HHSB43	サービス業	証券	412					
45	HHSB44	非製造業	農業	2,183					
46	HHSB45	非製造業	畜産	908					
47	HHSB46	非製造業	林業	70					
48	HHSB47	非製造業	水産	1,357					
49	HHSB48	サービス業	医療	31,568					
50	HHSB49	サービス業	保健・薬局	2,811					

2024年1月～3月期
近畿中小企業景況感動向(第175回)

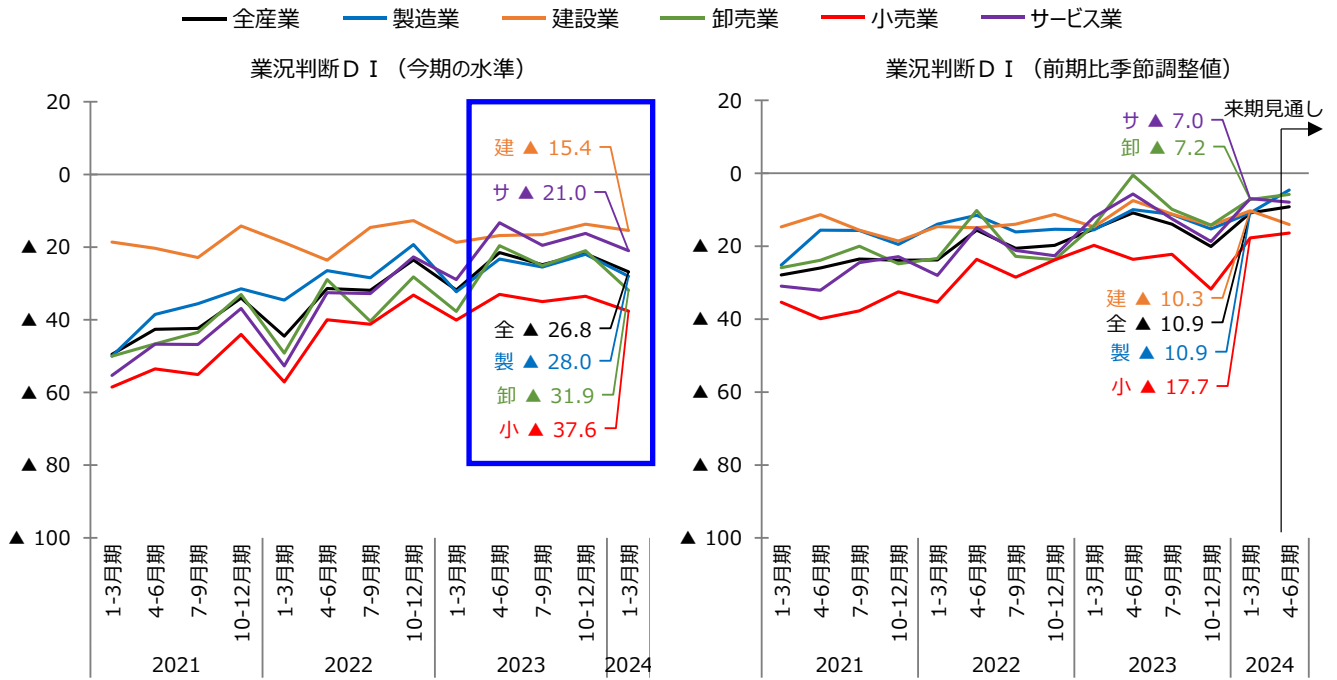
株式会社コスモ不動産情報
西大阪研究所

本店(西大阪研究所)				1年更新	2023年				2024年
No.	コード	産業	業種分類	企業件数	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
51	HHSB50	サービス業	保険	4,959					
52	HHSB51	サービス業	福祉	12,035					
53	HHSB52	サービス業	介護	10,353					
54	HHSB53	製造業	織物	2,467					
55	HHSB54	サービス業	宿泊・旅行	3,079					
56	HHSB55	サービス業	倉庫	2,872					
57	HHSB56	サービス業	学校・塾	4,301					
58	HHSB57	非製造業	産業廃棄物	7,066					
59	HHSB58	非製造業	リサイクル	4,101					
60	HHSB59	非製造業	花	3,013					
61	HHSB60	小売業	スーパーマーケット	2,577					
62	HHSB61	サービス業	娯楽	1,839					
63	HHSB62	非製造業	塗装	6,056					
64	HHSB63	製造業	自転車	3,464					
65	HHSB64	サービス業	警備・管理	3,705					
66	HHSB65	小売業	自動販売機	307					
67	HHSB66	製造業	建機	1,458					
68	HHSB67	製造業	硝子	2,349					
69	HHSB68	サービス業	スポーツ	2,783					
70	HHSB69	サービス業	宗教	5,607					
71	HHSB70	サービス業	専門サービス業	10,426					
72	HHSB71	製造業	薬品会社	2,266					
73	HHSB72	サービス業	冠婚葬祭	1,323					
74	HHSB73	サービス業	派遣業	1,895					
75	HHSB74	サービス業	理美容・エステ	1,159					
76	HHSB75	サービス業	医療法人本部	677					
77	HHSB76	サービス業	弁護士	1,553					
78	HHSB77	サービス業	情報・システム	3,354					
79	HHSB78	サービス業	映像・広告	1,758					
80	HHSB99	その他		18,036					
			合計(延べ)	575,390					

第175回 中小企業景況調査（2024年1-3月期） 近畿

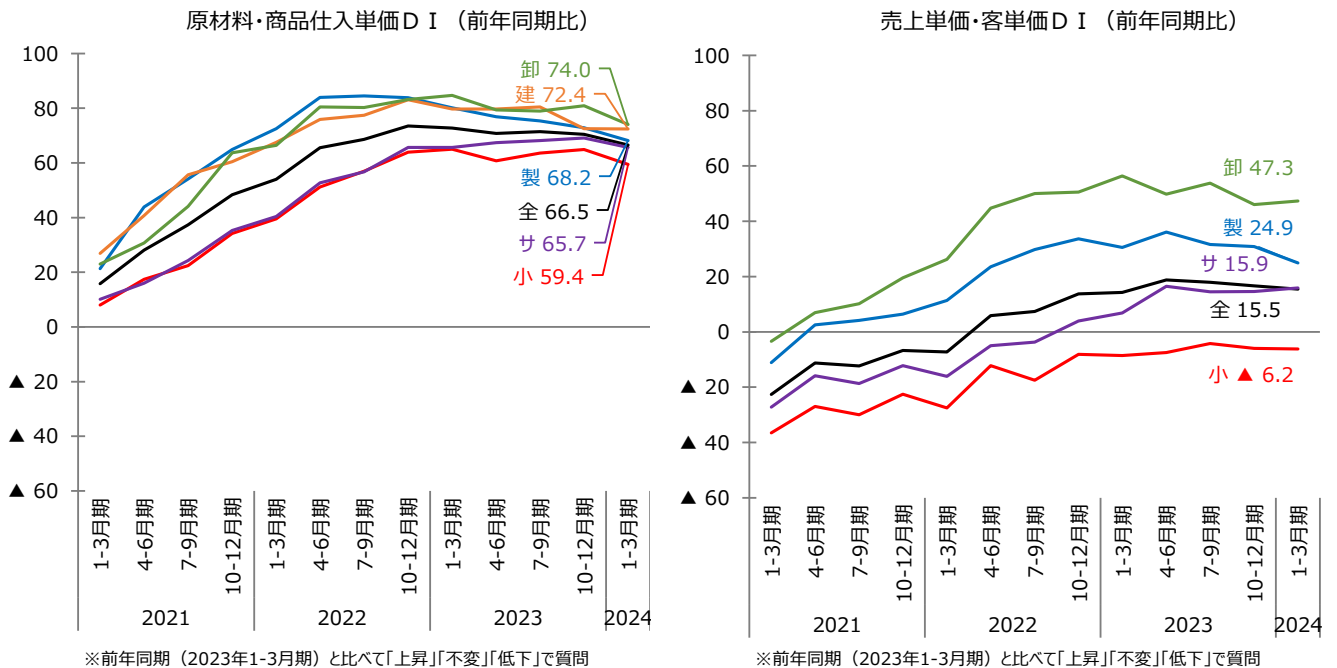
1. 業況感

近畿地域の中小企業の業況判断DI（今期の水準）は、全産業で前期（2023年10-12月期）より5.0ポイント減の▲26.8と2期ぶりに低下した。産業別にみると、5産業すべてで低下した。



2. 仕入単価・販売単価

原材料・商品仕入単価DIは、全産業で前期より4.0ポイント減の66.5と2期連続して低下した。産業別にみると、5産業すべてで低下した。また、売上単価・客単価DIは、全産業で前期より1.2ポイント減の15.5と3期連続して低下した。産業別にみると、卸売業、サービス業で上昇し、製造業、小売業で低下した。



<調査概要> 調査時点は2024年3月1日、調査対象は中小企業基本法に定義する全国の中小企業

今期の調査対象企業数：18,832 有効回答企業数：17,802 有効回答率：94.5% うち、近畿：2,491企業

※本資料の集計対象の都道府県は、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県です。

第175回 中小企業景況調査（2024年1-3月期） 近畿

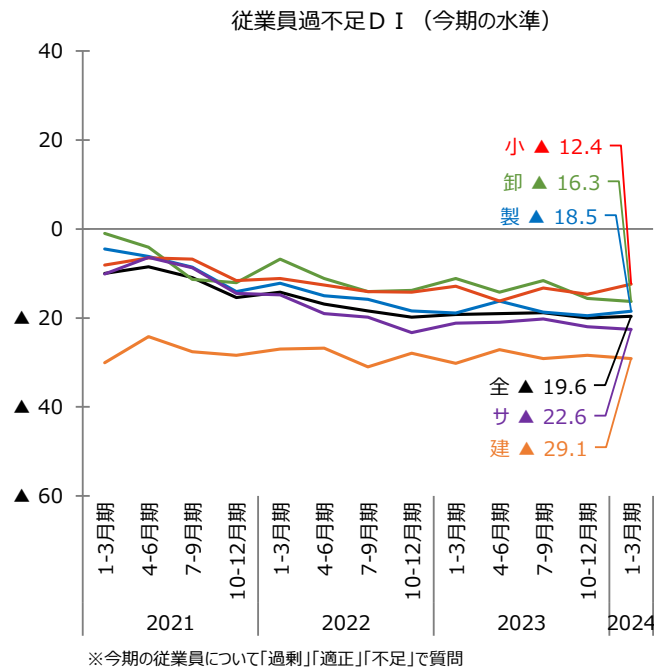
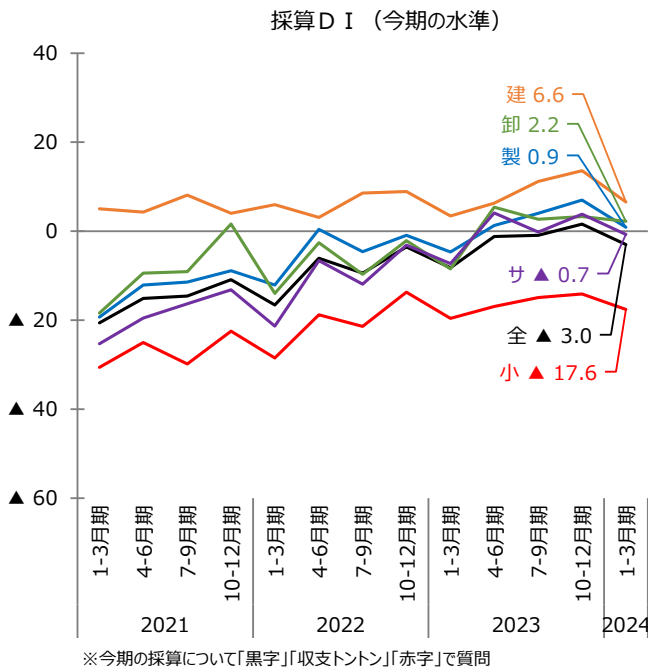


3. 採算

採算DIは、全産業で前期より4.6ポイント減の▲3.0と4期ぶりに低下した。産業別にみると5産業すべてで低下した。

4. 従業員過不足

従業員過不足DIは、全産業で前期より0.4ポイント増の▲19.6と2期ぶりに上昇した。産業別にみると、小売業、製造業で上昇し、卸売業、建設業、サービス業で低下した。



5. 近畿の中小企業の声

	業況判断の背景	業種
現状	半導体関連の需要は高いレベルにあるが、足元では一時的な減速傾向にある。半導体以外は、需要の停滞が大きく見られる。原材料価格の上昇が続いており、経営を圧迫している。今期は前年に比べ、厳しくなりそうだ。	製造業 他に分類されないプラスチック製品加工業
	新幹線開業に伴う建設特需が終息し、県内の建築需要が落ち着いた感がある。建設資材メーカーの当社においても、受注数、単価ともに減少傾向にある。	建設業 鉄筋工事業
	従業員の確保が非常に困難。特に技術職員は、母数もかなり少なく苦慮している。また、ヨーロッパ方面からの輸入ルート確保も課題。スエズ運河を回避し、喜望峰回りが主となり、リードタイム、運賃等上昇になっている。	卸売業 その他の産業 機械器具卸売業
	仕入単価の上昇により、価格転嫁したいと思うが、当店では固定客は60代以上の年金生活のお客が多いため、なかなか価格転嫁ができていない。	小売業 電気機械器具 小売業（中古品を除く）
	中小企業からコロナ後の業務改善相談が数多く寄せられていますが、熟練技術者の確保が難しく対応しきれない。企業も人集めに苦労されていますが、支援すべき弊社も人手不足で双方の業績向上の足かせです。	サービス業 受託開発ソフトウェア業
見通し	主要取引先の設備投資計画が後ろ倒しとなるケースが多く、製造をとりまく環境の好転は、まだ先になると実感。原材料費高騰、円安の影響は、受注単価の低下に直結し、この傾向は、しばらく続くと予測しています。	製造業 工業用プラスチック製品加工業
	年初より能登での災害が発生し、また、関西万博等の大規模のプロジェクトが本格的に始まると、資機材の調達に厳しくなると予想されます。世界的なインフレ傾向の中、収益を圧迫していくと感じています。	建設業 一般土木建築工事業
	現状の為替水準では、採算が取れない。値上げも限界がある。物流コストも上昇、物価高から需要も低迷。先がまったく見えない。	卸売業 その他の身の回り品卸売業
	原材料の価格上昇は、穏やかになりつつあるが、まだ上昇は続いており、今後商品の価格についても、値上げする必要があると思う。	小売業 菓子小売業（製造小売）
	本年4月より、2024年問題による従業員の拘束時間の制限や、残業代の割り増し等が発生し、先行きが見通せない。トラックを12月に買い替える予定であるが、購入価格がかなり高騰している。	サービス業 特定貨物自動車運送業

※中小企業景況調査の自由回答(フリーコメント)

項目を選択する方式ではなく、業況判断の背景についての感想や意見を自由に記入する方式であることから、各企業が抱える課題が表れている。